

(単位：千円)

消防局予算要求の内容			査定結果	
事業名	事業概要	要求額	査定額	内容
文化財とその周辺を守る防災水利整備	<p>平成18年度の「文化財とその周辺を守る防災水利モデル整備」を踏まえ、配水管網、消防隊用消火栓及び市民用消火栓等の整備範囲を拡充するとともに、更なる水源の確保対策として耐震型防火水槽、送水ポンプの整備を行い、大地震の大火において、有効な消火活動が行える新たな消防水利システムを構築する。</p> <p><成果目標> 平時はもとより、大地震の大火においても、貴重な文化遺産と風情ある京都の町並みを火災から守る。</p>	100,000	100,000	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
地域力を活かした住宅用火災警報器の設置促進	<p>平成18年度にモデル事業を実施したところ、取付作業の困難さが住宅用火災警報器の普及の大きな妨げとなっている実態が判明したことを踏まえ、避難困難者や高齢者世帯などへの火災警報器の取付けを支援する「住宅用火災警報器取付サポーター」制度を新たに創設する。</p> <p><成果目標> ・住宅用火災警報器の設置促進（4年間で全世帯の約半数，30万世帯）</p>	10,000	10,000	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
水災予測システム整備	<p>河川の氾濫による家屋、道路への被害の危険性はもとより、市街地・地下空間への浸水等に備えるため、市内38箇所にある雨量計の観測データや河川の水位、流量データ等を活用して、市内全域を対象に、どの地域で、いつ頃、どの程度の浸水被害が発生するかを予測する水災予測システムの整備を図る。</p> <p><成果目標> ・市職員の迅速な配備，動員 ・要配慮者や地下施設等への早期避難の誘導，支援 ・安全な避難場所，避難経路の選定</p>	140,000	99,000	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査
消防防災通信ネットワークの構築	<p>平成17年度に実施した基本設計及び18年度の実施設計を基に、防災行政無線の代替となる通信機器の整備及び消防救急デジタル無線のうち、車載端末装置の整備を行う。</p> <p><成果目標> 電波関係法令の改正に伴う地域防災無線及び消防救急無線周波数の停波に対応しつつ、大規模災害時における情報通信体制及び消防・救急活動体制の確保を図る。</p>	642,000	423,000	要求どおり 積算内容精査 事業内容精査